



2024年3月期第3四半期 決算説明資料

2024年2月14日

ソースネクスト株式会社

1. ハイライト

2. 事業の近況と戦略

3. 今後の見通し

4. 補足資料

総括

- インバウンド需要の拡大によりポケットークの販売台数が増加したことで、売上高は前期比で5.6%増加
- 今後のポケットーク事業拡大のための人件費及び広告宣伝費の増加、当社直販サイトを新システムへ移行することに伴う業務委託費の一時的な増加により経常損失は前期比で拡大
- 今後は、ポケットーク株式会社の事業拡大やシナジーの創出を目的に、複数の大手企業との資本業務提携を推進。また、近日中に、ポケットーク同時通訳に母国語同士での会話をシームレスに行う新機能を提供し、ポケットーク同時通訳の適用範囲を大きく広げ、サブスクリプションビジネスを大幅拡大。大企業のニーズに対応する製品・サービスを、日本だけでなく米国、欧州、アジア市場へ投入

トピックス

2023年10月

- PDF編集ソフト「いきなりPDF」最新版発売

2023年11月








- 「ポケットーク for BUSINESS 同時通訳」のウェブブラウザ版提供開始

2023年12月

- 「ポケットーク for BUSINESS ムービー翻訳」提供開始
- 360度webカメラの新製品「Meeting Owl3」販売開始

2024年3月期 損益計算書 (連結)

(単位：百万円)

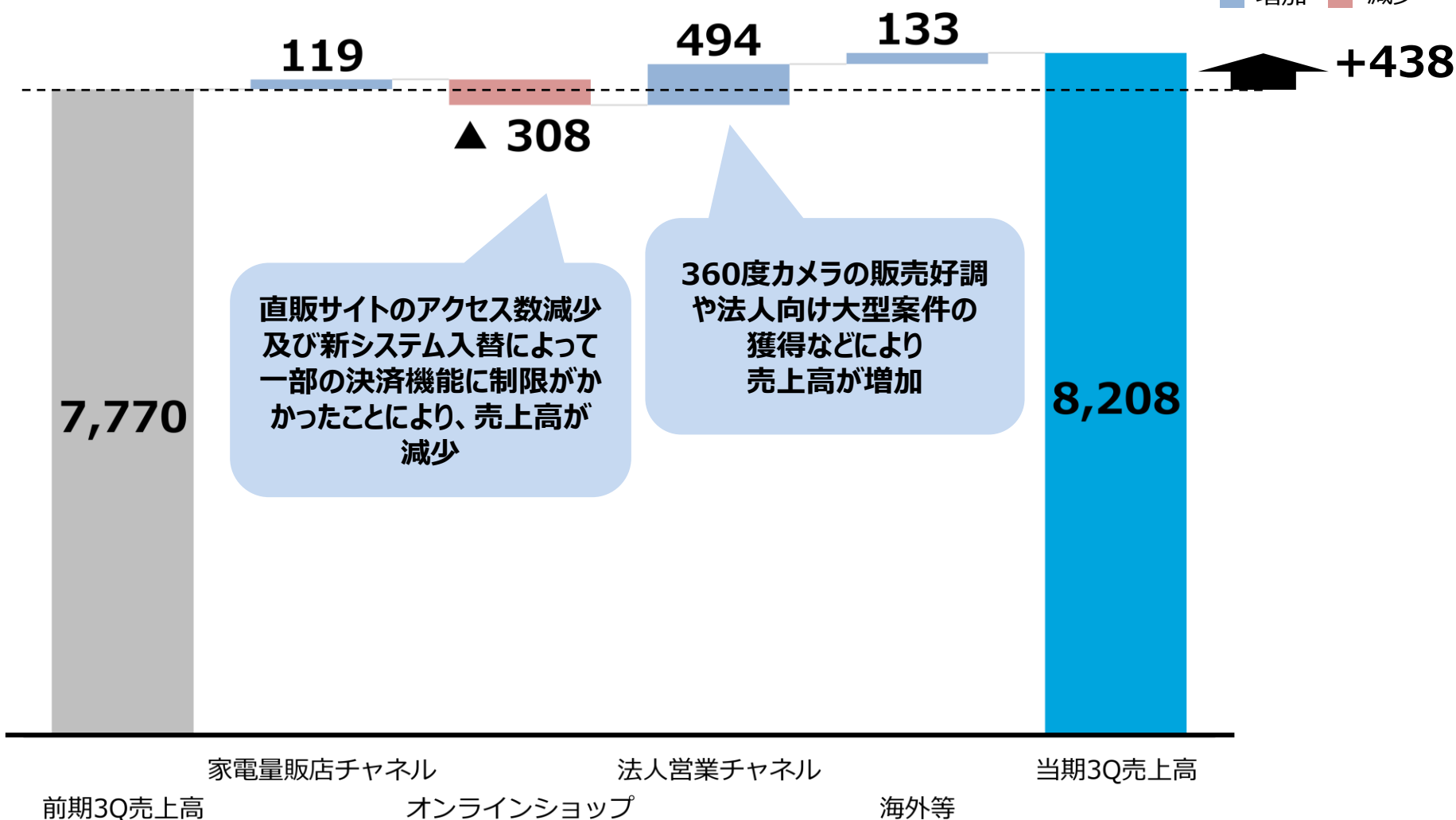
	2023年3月期 第3四半期(累計)	2024年3月期 第3四半期(累計)	前年同期比	
			増減金額	増減率
売上高	7,770	8,208	+438	+5.6% 
営業利益	▲1,416	▲1,870	▲453	▲32.0% 
営業利益率	▲18.2%	▲22.8%	-	▲4.6pt 
経常利益	▲1,414	▲1,946	▲531	▲37.6% 
経常利益率	▲18.2%	▲23.7%	-	▲5.5pt 
四半期純利益	▲1,332	▲1,660	▲327	▲24.6% 
四半期純利益率	▲17.1%	▲20.2%	-	▲3.1pt 

注：四半期純利益 = 親会社株主に帰属する四半期純利益

チャネル別売上高の増減（前期比/第3四半期累計）

（単位：百万円）

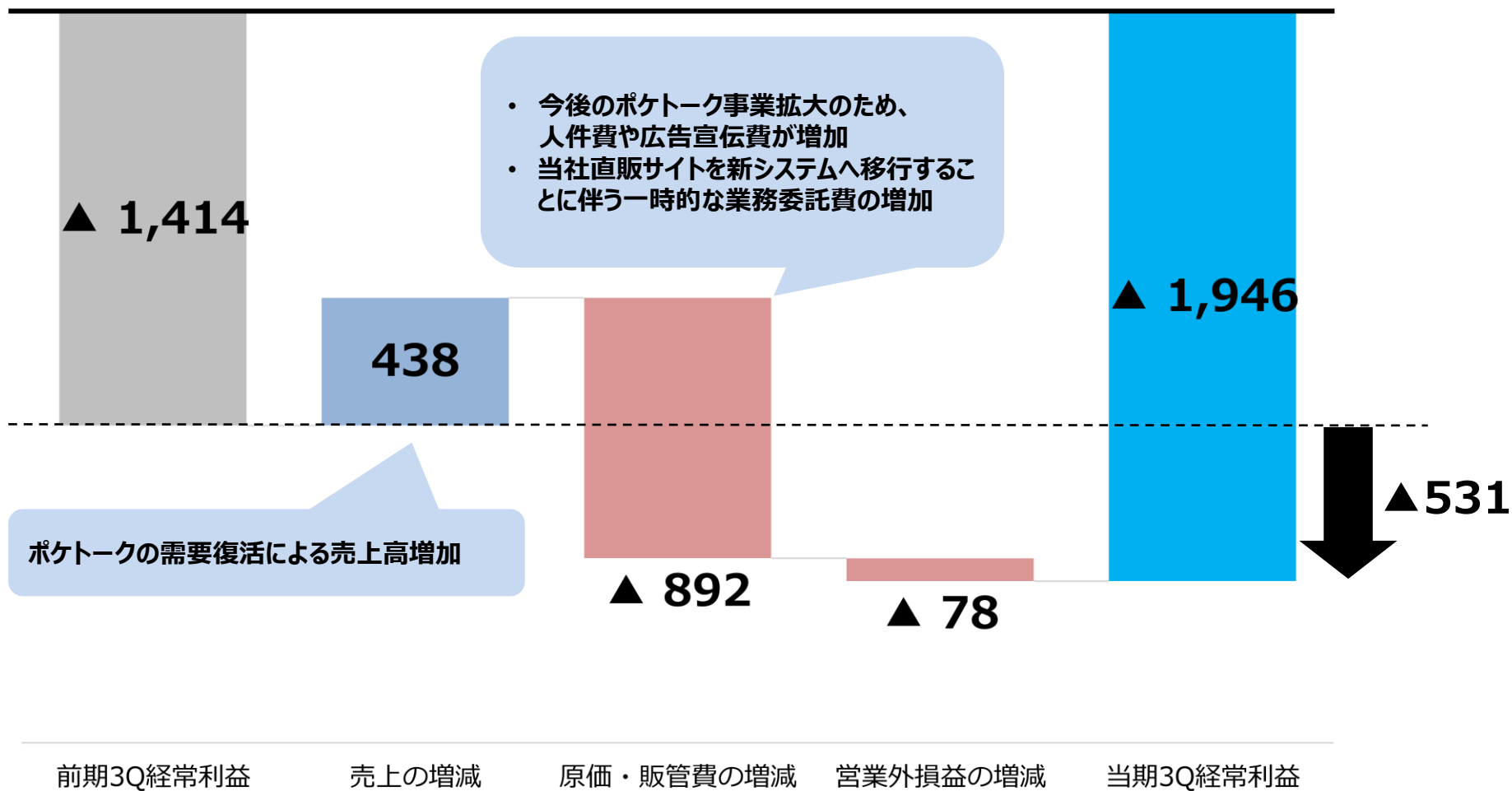
■ 増加 ■ 減少



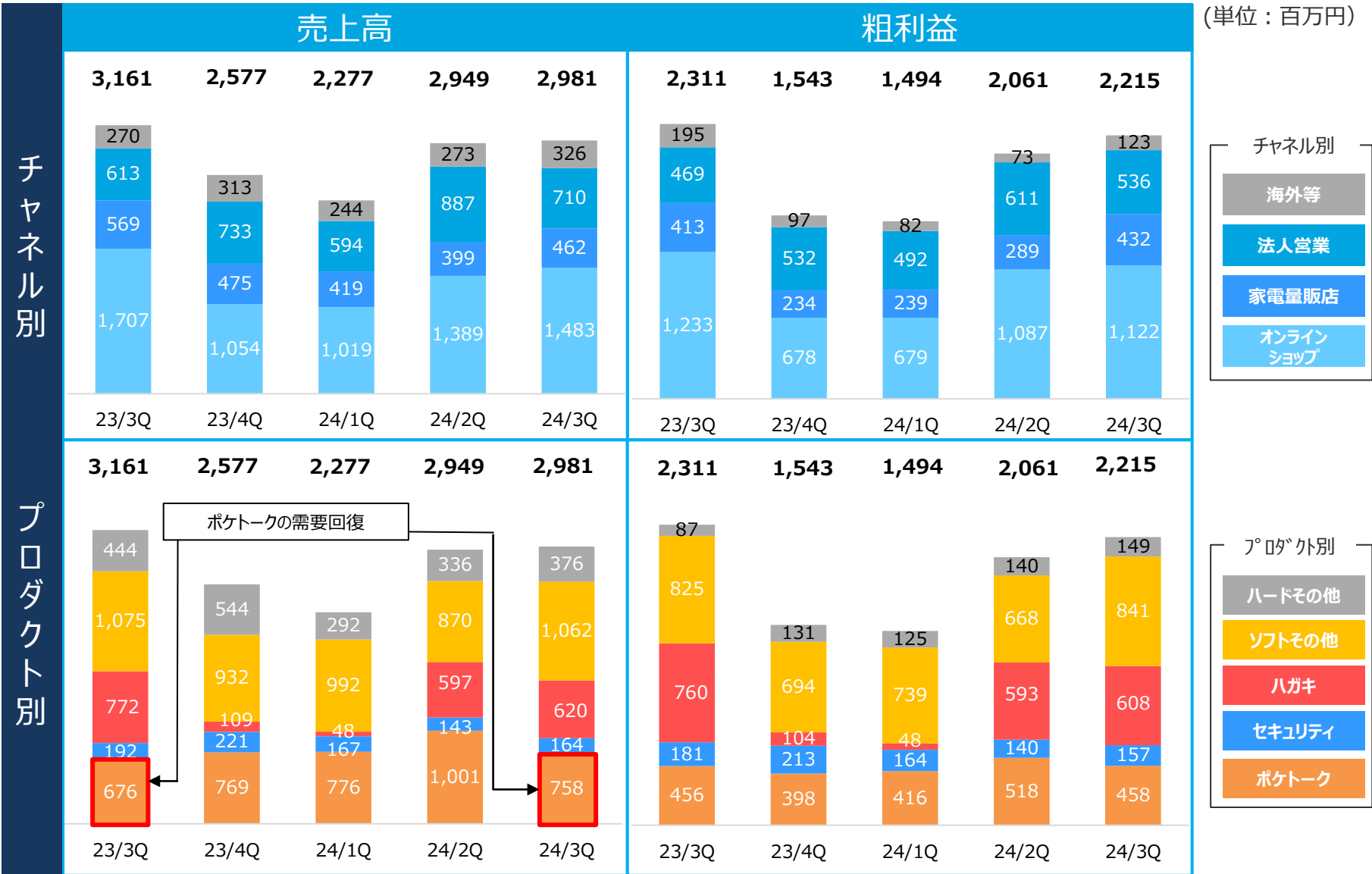
経常利益の増減（前期比/第3四半期累計）

（単位：百万円）

■ 増加 ■ 減少



※ 増加・減少は利益に対しての影響です。



連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2023年3月末	2023年12月末	前期比	
			増減金額	増減率
流動資産	12,506	9,816	▲2,689	▲21.5%
現金及び預金	6,484	4,057	▲2,426	▲37.4%
商品及び製品	3,345	2,771	▲574	▲17.2%
固定資産	7,132	7,563	+431	+6.0%
総資産	19,639	17,380	▲2,258	▲11.5%
流動負債	7,404	7,163	▲241	▲3.3%
固定負債	2,331	1,966	▲365	▲15.7%
純資産	9,903	8,250	▲1,652	▲16.7%
自己資本比率	46.9%	45.4%	-	▲1.5pt

1. ハイライト

2. 事業の近況と戦略

3. 今後の見通し

4. 補足資料

通期方針

1

インバウンド・アウトバウンド回復等による
ポケットーク端末の販売増

2

新たな機能を開発し魅力的な製品を提供

3

サブスク型サービスによる安定的な収益基盤形成

通期方針

1

インバウンド・アウトバウンド回復等による
ポケットーク端末の販売増

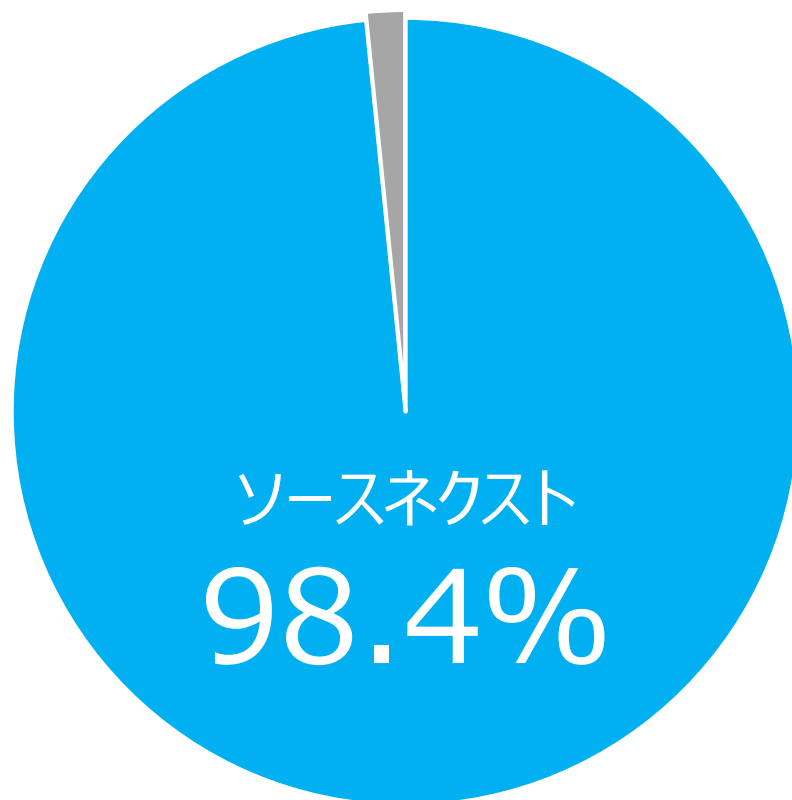
2

新たな機能を開発し魅力的な製品を提供

3

サブスク型サービスによる安定的な収益基盤形成

2023年12月度「翻訳機」販売金額シェア



73ヶ月
連続販売金額シェア

第1位

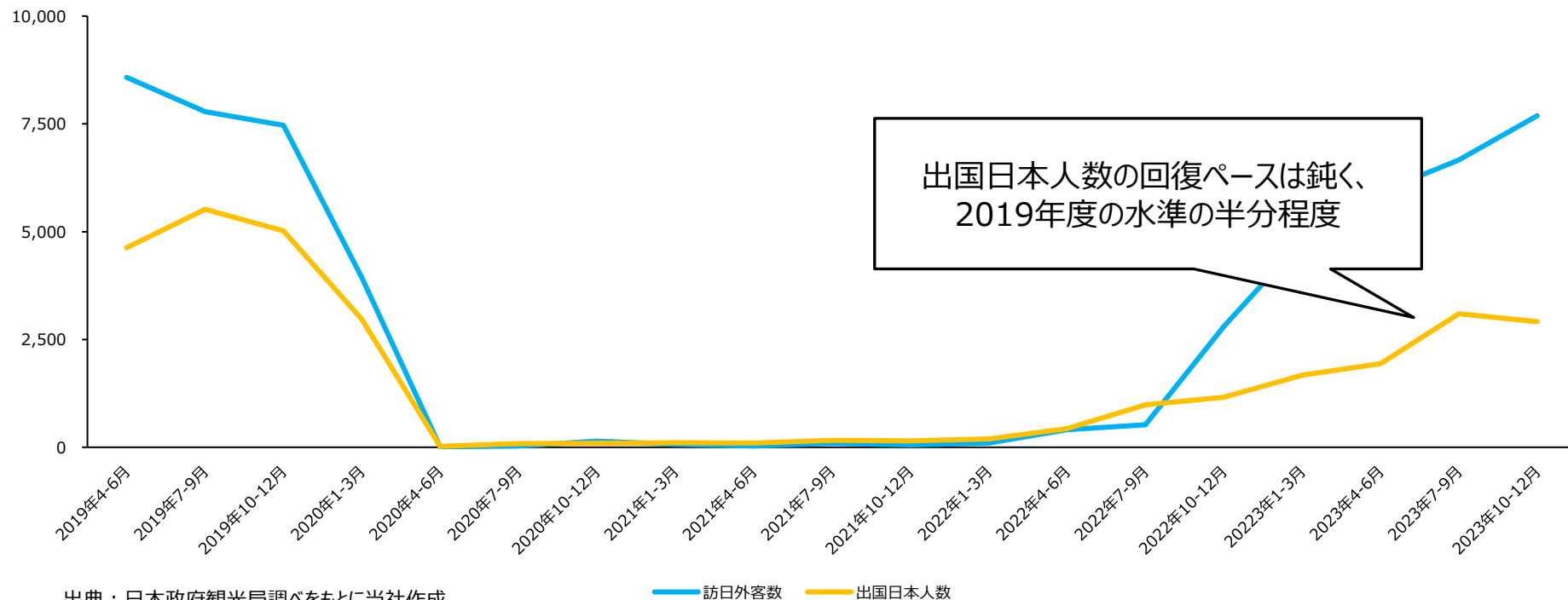
総出荷台数
110万台突破

出典：「電子手帳・辞書」から「翻訳機」を抽出、
第三者機関による全国の有力家電量販店の販売実績をもとに自社集計

インバウンド・アウトバウンドの回復状況

訪日外客数と出国日本人数の推移

(単位：千人)

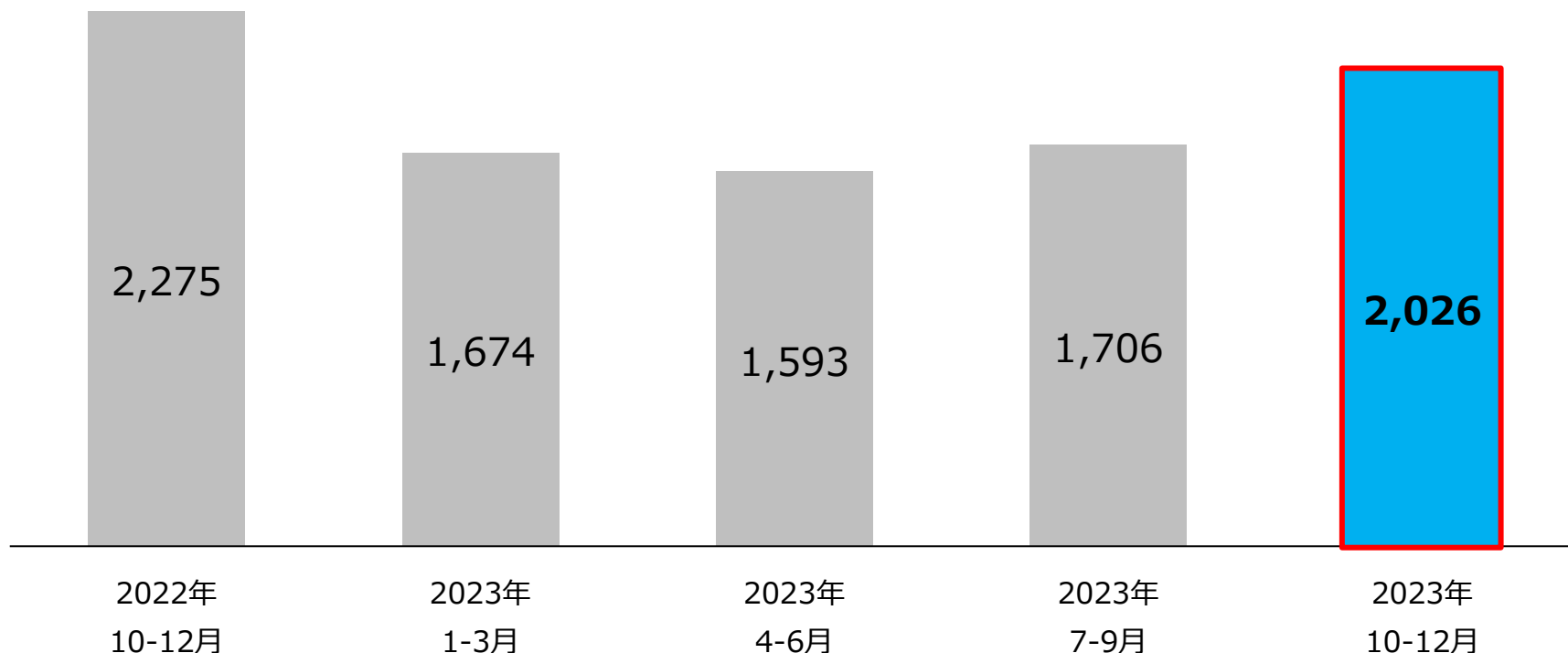


出典：日本政府観光局調べをもとに当社作成

2023年12月度(単月)の訪日外客数は2019年同月比108.2%と新型コロナウイルス拡大以前の水準を超えた。
一方で、出国日本人数は55.4%と依然として回復のペースは鈍い。

米国でのポケットーク事業 売上高

(単位：千USD)



- 非ネイティブに向けた多言語対応需要により、公的機関や民間企業での導入が順調に進捗したものの、一時的な在庫不足により端末の納品が後ろ倒しになった影響で前年同期比では売上高が減少
- 24年1月度の売上高は、前年同月比**1.3倍**に増加

米国でのポケットーク導入例

法人・公的機関・エッセンシャルサービス（病院・学校・警察）への導入

法人










公的機関







VA | U.S. Department of Veterans Affairs



King County Courthouse

ABCニュースでも露出



エッセンシャルサービス








CESへブースを出展 グローバルな展開を加速

- 24年1月、アメリカ・ラスベガスで開催された世界最大級のテクノロジー見本市「CES 2024」へ出展
- 端末に加え、「ポケットーク for BUSINESS」の体験を実施



ポケットワーク for BUSINESS 同時通訳

2023年11月、ウェブブラウザ版を発売

パソコン



+

スマートフォン
iPhone/Android



タブレット
iPad等

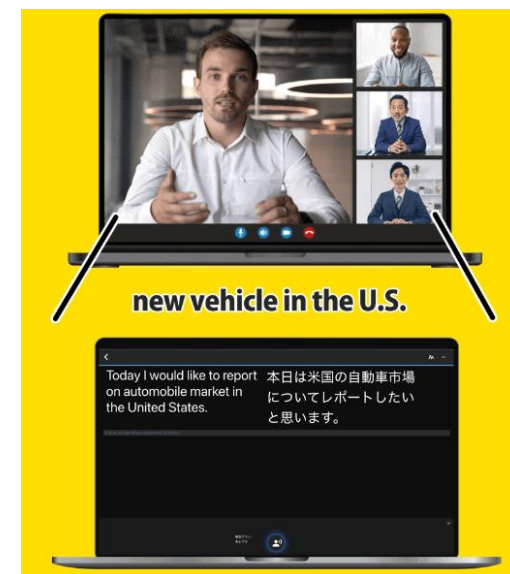


インストール不要、あらゆるデバイスで利用が可能

ポケットワーク for BUSINESS 同時通訳

主な特徴

1. ハンズフリーで簡単操作
2. 相手に気付かれることなく手元で使える
3. 履歴がすぐに見られる
4. 会話の内容をファイルで保存可能
5. ネイティブスピーカーが手加減せずに話せて、インド英語などの訛りも正確に聞き取れる



ポケットーク for BUSINESS 同時通訳

翻訳元言語数

翻訳先言語数

10



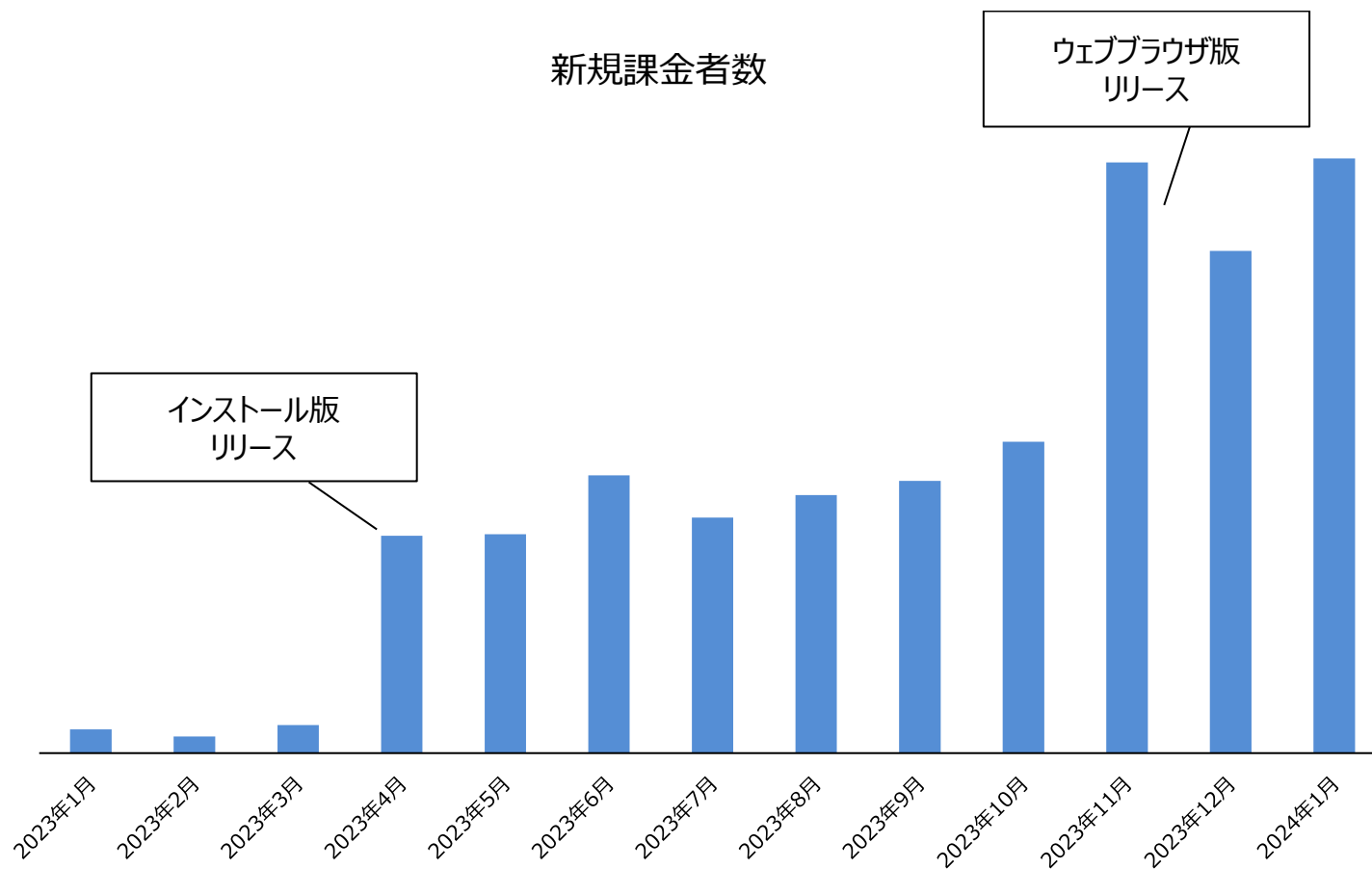
74

ポケットーク同時通訳



- 相手の話す10言語を74言語の音声と字幕でリアルタイムに翻訳
(対応言語：続々と追加予定)
- 近日中に、母国語同士での会話をよりシームレスに行う新機能を提供
- 月額3,300円（税込）/年額33,000円（税込）の2プランを用意
- ソフトウェアかつサブスクリプション型製品のため、高粗利で安定的な収益基盤の構築に資する

「ポケットーク for BUSINESS 同時通訳」の 新規課金者数は順調に増加



大手企業や教育機関を含め、数百社を超えるテスト導入が進む

ポケットワーク for BUSINESS ムービー翻訳

2023年12月、提供開始



動画マニュアル



事業紹介・研修動画



広告運用向け動画



事例・取材動画

ポケットワーク for BUSINESS ムービー翻訳

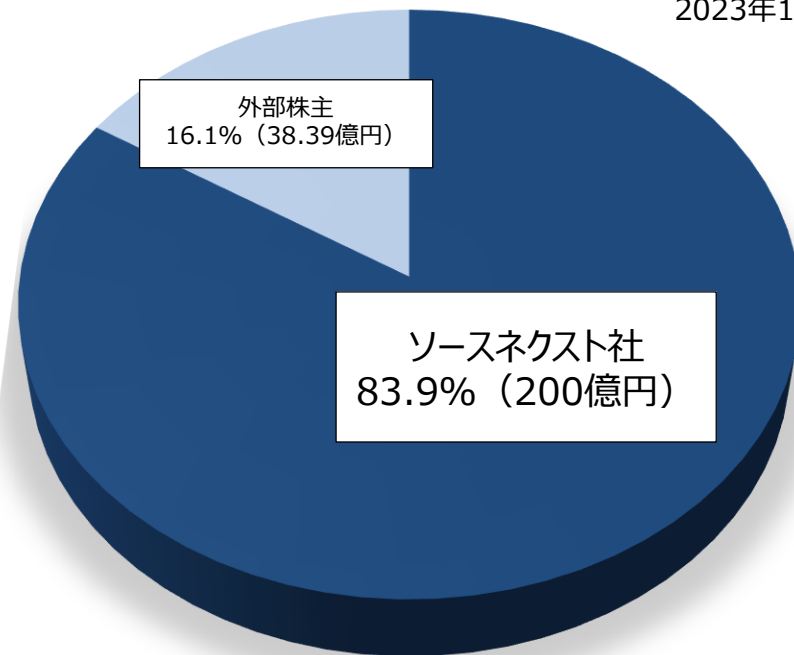
- AIによる翻訳で、安価に、早く、簡単に動画の翻訳が可能
- ウェブブラウザ上で使用でき、インストールが不要

ポケットーク社にて 累計38.39億円の資金調達を実施

ポケットーク社の株主構成

時価総額 238.39億円

2023年12月増資時点



複数の大手企業との資本業務提携を進める

通期方針

1

インバウンド・アウトバウンド回復等による
ポケットーク端末の販売増

2

新たな機能を開発し魅力的な製品を提供

3

サブスク型サービスによる安定的な収益基盤形成

最新モデル「Meeting Owl3」を発売

- 360度webカメラ「Meeting Owl Pro」の後継モデルである「Meeting Owl3（ミーティングオウル3）」を発売
- 360度カメラとAIによるオートフォーカスで、web会議でもまるでその場にいるような感覚で会議への参加が可能。専用拡張マイクを使用することで、より大きな会議室にも対応



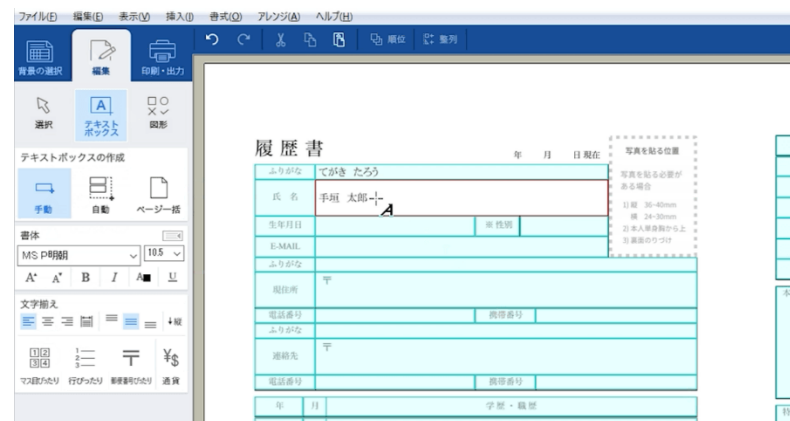
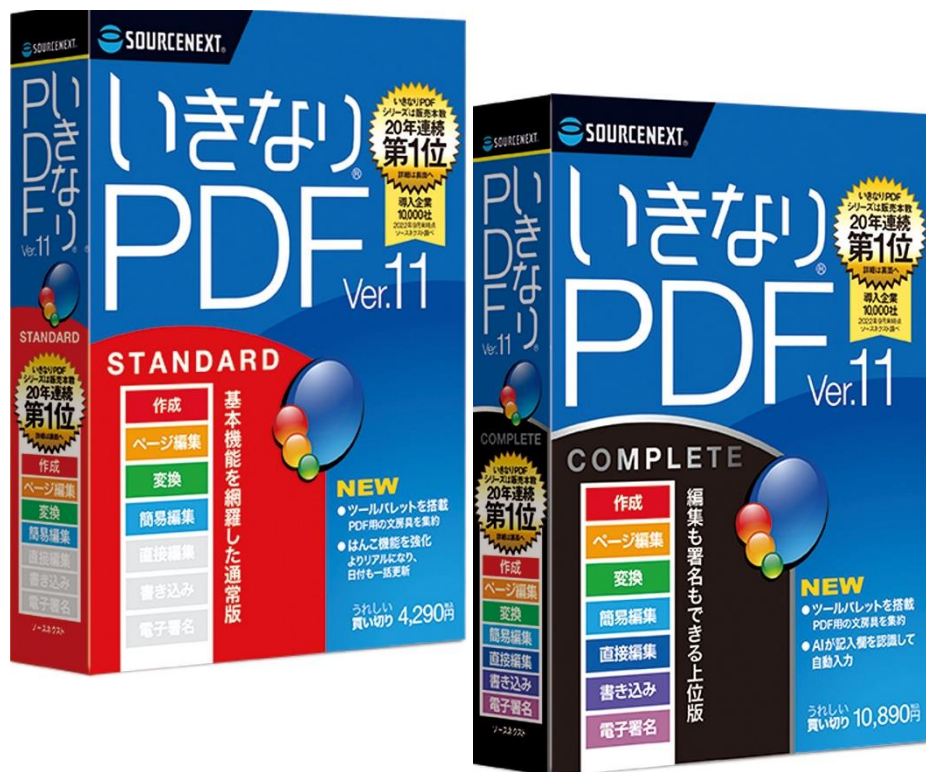
Owl3使用時の画面イメージ



Owl3本体 + 拡張マイク(別売)

最新版「いきなりPDF」シリーズ発売

- PDF編集ソフト「いきなりPDF Ver.11(COMPLETE/STANDARD)」を発売
- インボイス制度や電子帳簿保存法の改正などでペーパーレス化の需要が高まったことで、家電量販店や法人向け販売を中心に販売が拡大



PDF形式の申請書に簡単に記入可能



はんこをリアルに、使いやすくアップデート

「AutoMemo」の音声認識エンジンの外部提供を開始

- 「AutoMemo」に実装されている音声認識エンジンを東証コンピュータシステム社へ提供。23年12月、東証コンピュータシステム社にて当該サービスの販売開始
- 今後も音声認識エンジンの提供を通して新たな収益を創造するべく、パートナー企業の拡大を目指す

「東証コンピュータシステム 通録AI分析サービス」の運用イメージ



出典：東証CS社 HP

通期方針

1

インバウンド・アウトバウンド回復等による
ポケットーク端末の販売増

2

新たな機能を開発し魅力的な製品を提供

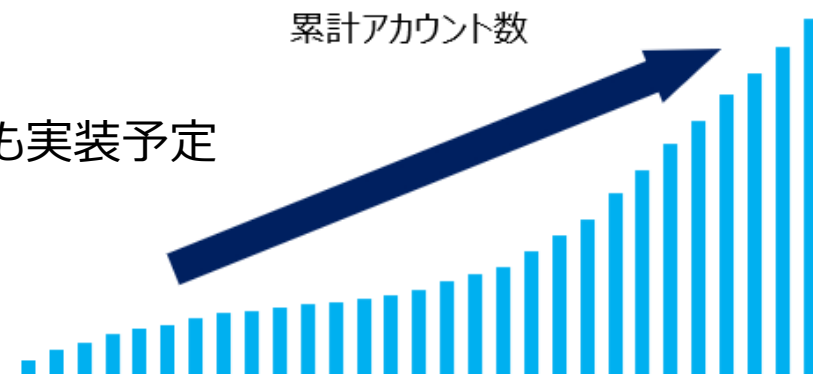
3

サブスク型サービスによる安定的な収益基盤形成

「AutoMemo」の累計アカウント登録数12万アカウント突破



- 2024年1月、AutoMemoの累計アカウント登録数（サービスを利用する有料・無料会員数の合計）が12万アカウントを突破
- 有料アカウント数も順調に増加
- 要約機能やToDo抽出機能など、新機能も実装予定



年賀状ソフト

市場は縮小傾向だが、自動課金の実施等により
安定的な収益を確保しキャッシュカウ化に成功

(単位：百万円)

	実績		前期比
	2023年3月期 第3四半期(累計)	2024年3月期 第3四半期(累計)	
売上高	1,290	1,265	98.1%
粗利益	1,272	1,250	98.3%

参考：年賀状発行枚数

2023年16億7690万枚 → 2024年14億4000万枚

(前年比▲2億3690万枚)

日本郵便(株)発表を基に当社作成



スマート留守電

■ 読める、新しい留守番電話サービス「スマート留守電」

新規ユーザー獲得が順調に推移し、2023年5月には累計ユーザー数が25万人を突破
売上高も順調に伸長し、サブスク型サービスとして安定した収益基盤の形成に貢献

■ 「スマート留守電」の販路

従来のアプリストアでの販売に加え、家電量販店の携帯キャリアのカウンターや、
500店舗を超える全国携帯ショップにて副商材として販売
店頭での新規ユーザー獲得が順調に推移し、ユーザー数の増加に寄与



500店舗を超える全国携帯ショップで販売

1. ハイライト

2. 事業の近況と戦略

3. 今後の見通し

4. 補足資料

2024年3月期の通期連結業績予想を下記の通り修正いたします。

(単位：百万円)

	2024年3月期 通期（連結）		
	前回発表予想	今回修正予想	増減額
売上高	13,846	11,588	▲2,258
営業利益	21	▲2,392	▲2,413
経常利益	65	▲2,302	▲2,368
当期純利益	29	▲1,951	▲1,981
EPS(円)	0.22	▲14.40	—
年間配当金(円)	—	—	—

※ 当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益

※ EPS：1株あたり当期純利益

※ 上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。

通期連結業績予想（修正）と前期実績との比較

(単位：百万円)

	2023年3月期 通期（連結） 実績	2024年3月期 通期（連結） 今回修正予想	増減額
売上高	10,347	11,588	+1,240
営業利益	▲2,574	▲2,392	+182
経常利益	▲2,537	▲2,302	+235
当期純利益	▲2,303	▲1,951	+352
EPS(円)	▲17.00	▲14.40	—
年間配当金(円)	—	—	—

※ 当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益

※ EPS：1株あたり当期純利益

※ 上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。

業績予想修正の要点

- 「ポケットーク for BUSINESS 同時通訳」のウェブブラウザ版をリリースし、大企業や教育機関など数百社へのテスト導入が進む一方で、本格受注までのリードタイムが長く、第3四半期以降で見込んでいた売上・利益の水準に到達するまでに想定より時間を要しているため、業績予想を下方修正。
- 今後、ポケットーク株式会社の事業拡大やシナジーの創出を目的に、複数の大手企業との資本業務提携を推進。また、近日中に、ポケットーク同時通訳に母国語同士での会話をシームレスに行う新機能を提供することにより、ポケットーク同時通訳の適用範囲を大きく広げ、サブスクリプションビジネスを大幅拡大。大企業のニーズに対応する製品・サービスを、日本だけでなく米国、欧州、アジア市場へ投入。

ポケットークの戦略

① 複数の大手企業との資本業務提携

事業シナジー創出のため、複数の大手企業との戦略的資本業務提携を推進。

② 近日中に、母国語同士での会話をよりシームレスに行う新機能を投入

お客様からニーズが高く、利便性を大幅に高める新機能を、近日中にリリース予定。

③ サブスクリプションビジネスの大幅拡大

継続的な収益が確保できる製品・サービスを大きく拡販。

④ エンタープライズ対応の製品・サービスをグローバル市場へ投入

大企業のニーズに対応する製品・サービスを、日本だけでなく米国、欧州、アジア市場へ投入。

ソースネクスト（ポケットーク除く）の戦略

① AutoMemo 要約・ToDo抽出機能の発売（3月）

ターゲットユーザーの拡大とサブスクリプションサービスの単価向上（新機能は別途料金体系を用意）。

② BtoBビジネスの拡大

- ・AutoMemoやMeeting Owl3等、法人向け製品のバージョンアップや新機能の提供。
- ・国内代理店200窓口を直接フォローする体制の構築。

③ デジタルマーケティングの強化

- ・BtoBのCRMシステムを刷新。見込み顧客の一元管理やデジタルマーケティングを強化。
- ・昨年刷新したEC基盤を活用し、年賀状/PDF作成/動画作成ソフト等のキャッシュカウ製品から得られるサブスクリプション収益を拡大。

次の常識をつくる

We Source What's Next.

1. ハイライト

2. 事業の近況

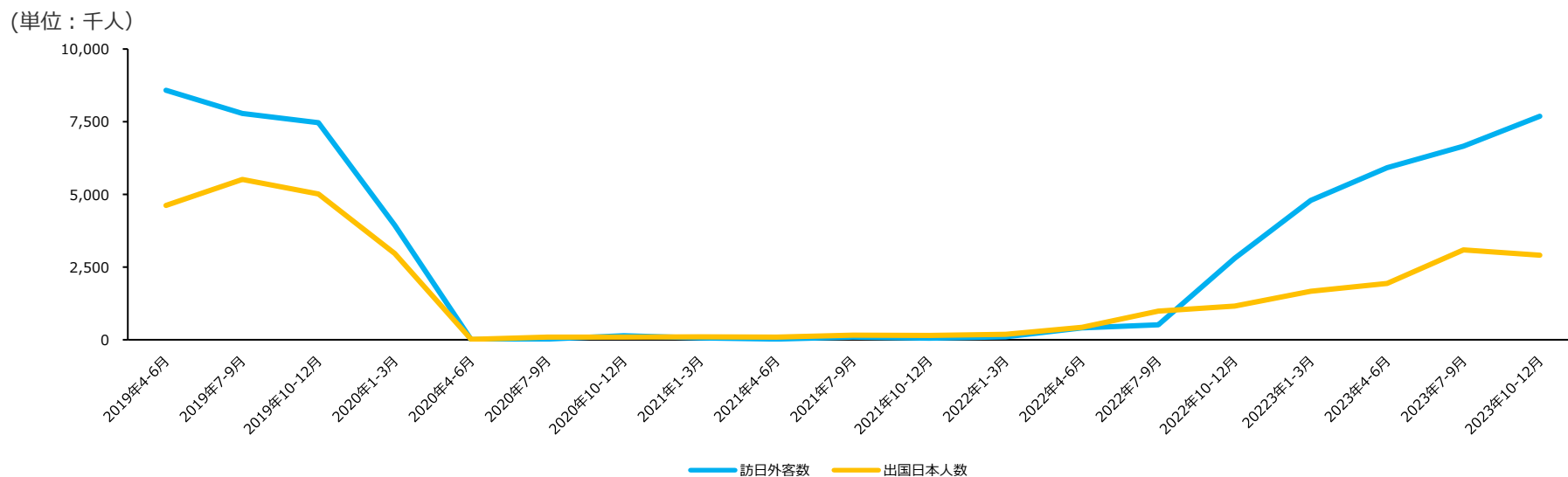
3. 業績予想

4. 補足資料

訪日外客数と出国日本人数

(単位：人)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
訪日外客数	2017年	2,295,668	2,035,771	2,205,664	2,578,970	2,294,717	2,346,442	2,681,518	2,477,428	2,280,406	2,595,148	2,378,079	2,521,262
	2018年	2,501,409	2,509,297	2,607,956	2,900,718	2,675,052	2,704,631	2,832,040	2,578,021	2,159,595	2,640,610	2,450,751	2,631,776
	2019年	2,689,339	2,604,322	2,760,136	2,926,685	2,773,091	2,880,041	2,991,189	2,520,134	2,272,883	2,496,568	2,441,274	2,526,387
	2020年	2,661,022	1,085,147	193,658	2,917	1,663	2,565	3,782	8,658	13,684	27,386	56,673	58,673
	2021年	46,522	7,355	12,276	10,853	10,035	9,251	51,055	25,916	17,720	22,113	20,682	12,084
	2022年	17,766	16,719	66,121	139,548	147,046	120,430	144,578	169,902	206,641	498,646	934,599	1,370,000
	2023年	1,497,472	1,475,455	1,817,616	1,949,236	1,899,176	2,073,441	2,320,694	2,157,190	2,184,442	2,516,623	2,440,800	2,734,000

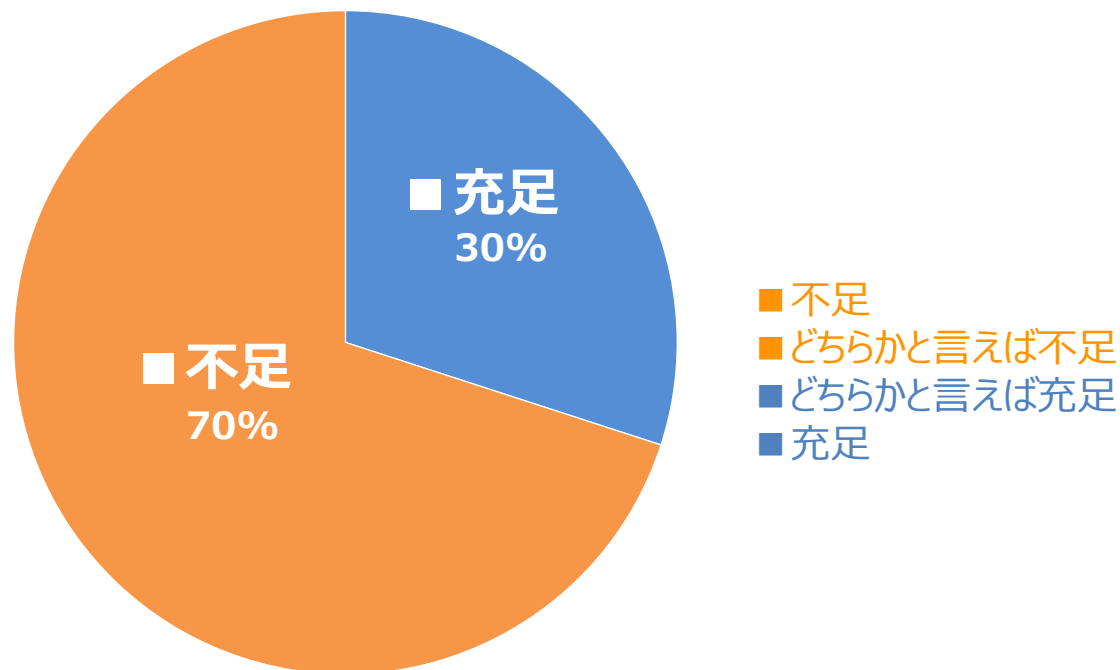
(単位：人)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
出国日本人数	2017年	1,295,059	1,493,399	1,745,412	1,234,921	1,317,742	1,336,169	1,480,718	1,888,071	1,622,694	1,459,083	1,546,985	1,469,039
	2018年	1,423,727	1,390,518	1,807,063	1,356,679	1,383,847	1,421,649	1,557,980	2,033,435	1,630,088	1,646,230	1,673,473	1,629,345
	2019年	1,452,157	1,534,792	1,929,915	1,666,546	1,437,929	1,520,993	1,659,166	2,109,568	1,751,477	1,663,474	1,642,333	1,712,319
	2020年	1,380,762	1,316,820	272,697	3,915	5,539	10,663	20,295	37,137	31,606	31,049	30,703	33,033
	2021年	48,691	24,807	28,896	35,905	30,121	30,666	43,184	66,051	52,366	50,841	51,774	48,942
	2022年	74,982	46,932	70,678	129,168	134,013	171,529	277,945	386,412	319,165	349,557	379,196	432,057
	2023年	443,105	537,705	694,292	560,183	675,603	703,259	891,615	1,200,930	1,004,730	937,715	1,027,110	947,900



出典：日本政府観光局調べをもとに当社作成

依然としてグローバル人材は不足

70.5%の企業（690社）が「海外事業に必要な人材が不足」と認識

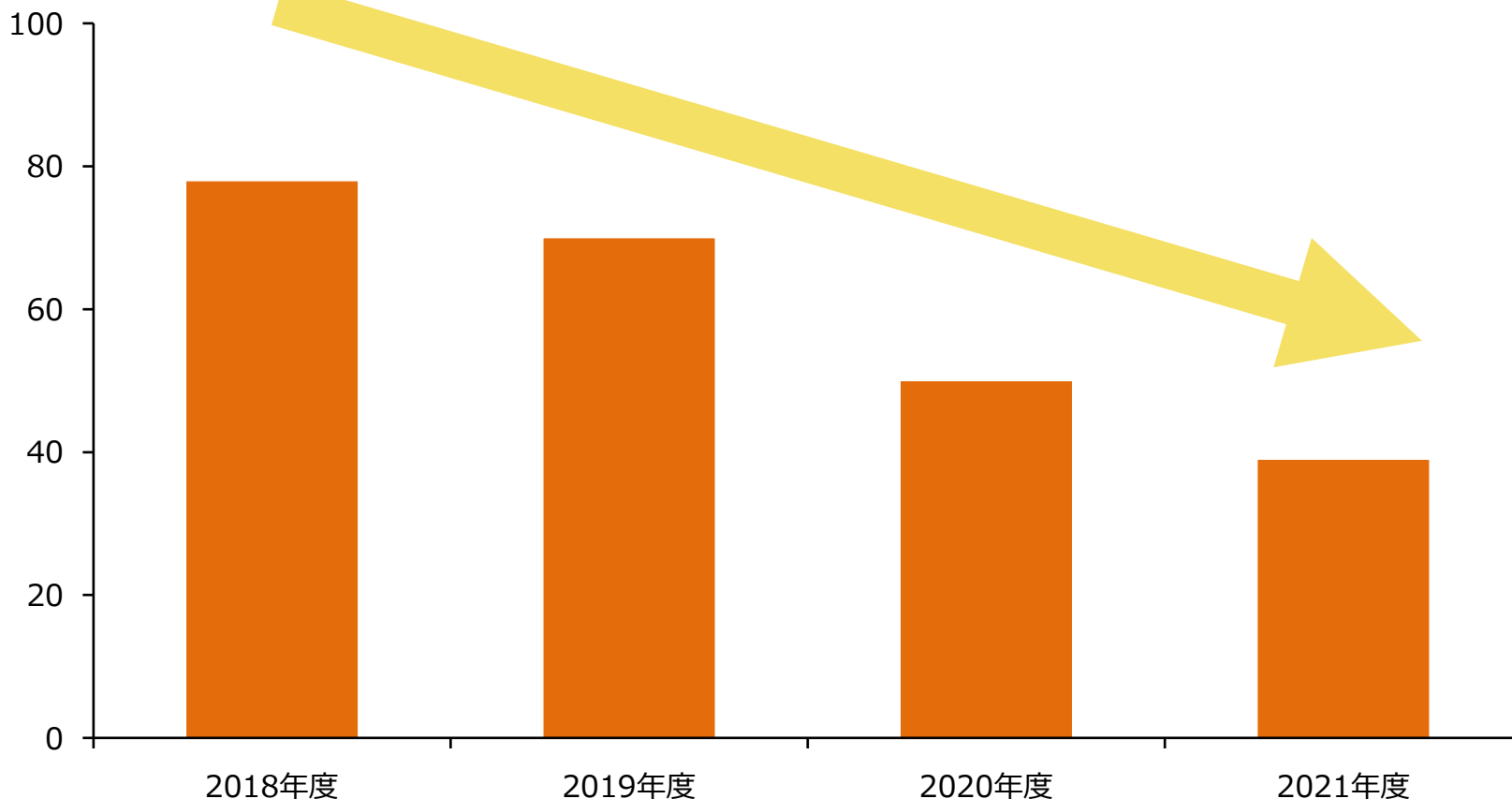


区分	充足	どちらかと言えば充足	どちらかと言えば不足	不足	合計
選択した企業数	100	190	516	174	980
選択率	10.2%	19.4%	52.7%	17.8%	100.0%

出典：総務省「グローバル人材の確保状況等に関する企業の意識調査」

全国通訳案内士試験の 受験者数推移

単位：百人



出典：日本政府観光局

通訳の確保は喫緊の課題

ポケットーク ミッション

「言葉の壁をなくす」

観光

インバウンド・アウトバウンド

労働現場

企業・病院・学校

グローバル展開

人道支援



本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。
また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではなく、今後、予告なしに変更することがあります。万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いませんので、ご了承ください。